

|| 広島大学 ||

第1回統計分析ソフト講習会

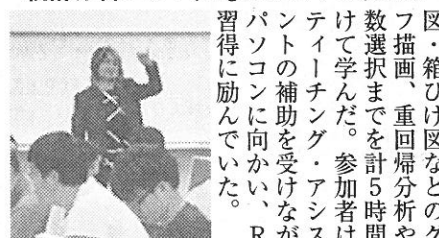
広島大学インキュベーション研究拠点の1つである統計科学研究拠点は9月30日、同情報メディア教育研究センターとの共催で、「第1回統計分析ソフト講習会」初めての「R」を開催した。統計科学研究拠点は「世界的研究拠点の継続的創出」に向けて、重点支援の対象として認定された、優れた教育研究実績を有する研究グループ。

講習会は、統計分析のスキル向上を目的とした統計分析フリーソフト「R」を学習するもので、学内のみならず学外にも広報を行った。東広島キャンパスの会場には80人の参加者が集まり、地元企業など一般からも30人以上の参加があった。

講師は、拠点メンバー柳原宏和大学院理学研究科准教授が務めた。講習会では、ソフトのダウンロードから、データの読み込み、サンプルデータを用いたヒストグラム・散布



統計分析ソフト「R」を学習する参加者



講演する柳原准教授

図・箱ひげ図などのグラフ描画、重回帰分析や変数選択までを計5時間かけて学んだ。参加者は、ティーチング・アシスタントの補助を受けながらパソコンに向かい、Rの習得に励んでいた。

|| 広島大学 ||

留学生が地域のお祭りを見学

広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)留学生38人(北米・ヨーロッパ・オセアニア・アジア出身)が10月2日、呉市の吉浦八幡神社に伝わる「かに祭り」(秋大祭)を見学した。留学生は9月26日に広島大学に着したばかり。同大国際センターの恒松直美准教授がHUSA交換留学生を呉市吉浦かに祭り見学に引率するのは、今年で14回目。日本に来たばかりの留学生に毎年大好評の行事である。

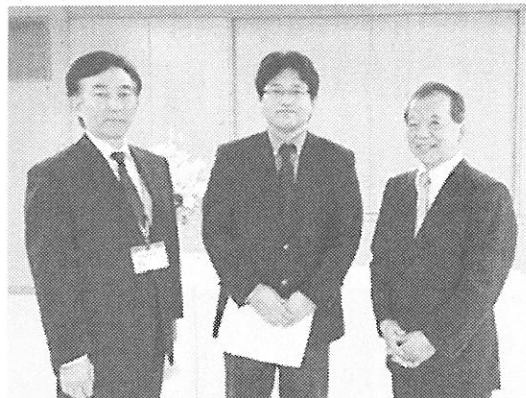
五穀豊穡と豊漁を願い、各地区から出される神輿やお船が神社に向かい、鬼や「ばくろう」(馬喰・馬・牛の仲買人)が竹棒をもって道を作っていく様子に、留学生は見入っていた。また「そりゃさげた」の掛け声とともに、「ちようさい」と



伝統的祭りの雰囲気を経験する留学生
呼ばれる「ちようさい」と
「みこし」
漁師さん
のお船を
かつかいで
行き来す
地域の
方々の一
生懸命な
姿に、留
学生も感
動した様
子であつ

= 広島大学病院 =

福島復興支援で医師が出向



右から、菊地理事長、宇都宮助教、谷川副理事長(復興担当)

広島大学では、主として原発事故の発生した福島県を中心に、東日本大震災直

後から継続して緊急被ばく医療チームを派遣し、医療支援などの被災地の復興支援活動に取り組んできた。このたび、福島県立医科大学から、双葉地域の避難指示解除を見据え、帰還住民が安心して住み、働ける環境を整備するための医療体制構築を目的として同大医学病院内に設置した「ふたば救急総合医療支援センター」への協力依頼があった。そのため、広島大学病院内に「福島医療支援センター」を設置し、10月から同病院医師が出向し、医療支援を通じて福島復興に協力することとなった。勤務開始にあたり10月3日、福島県立医科大学の菊地臣一理事長・学長から辞令交付が行われた。辞令を受けた同病院循環器内科の宇都宮裕人助教は、「これまでの医師としての経験を福島復興支援のために役立て、貢献していきたい」と意気込みを語った。

|| 山口大学 ||

全学「教職センター」設置

山口大学は10月1日、全学センターの一つとして「教職センター」を設置した。「教職センター」は、全学の教職課程の管理・運営に関する組織的指導体制を確立するとともに、学内外の教育関連機関等との連携・協働を強化しながら、教員養成および現職教員研修の質の向上を図ることを目的としている。

|| 山口大学 ||

学位記授与式と卒業式、大学院入学式

山口大学は9月30日、吉田キャンパス大会館において平成28年度山口大学学位記授与式および卒業式(秋季)、平成28年度山口大学大学院入学式(秋季)を挙行了。大ホールにおいて行われた学位授与式および卒業式では、外国人留学生37名を含む96名が門出の日を迎えた。岡正朗学長は、「大学で養った能力や知識を駆使し、社会の真のリーダーとして成長されることを心より期待し